



フェアトレード ～チョコレート知らない子供たち～

「フェアトレード」とは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動のことです。



以前、フードマイレージについて調べたときにフェアトレードのことを知りました。

フェアトレードについて調べると出てくるのはカカオの生産のために**子供たちが奴隷として働かされている**という話です。

西アフリカのコートジボアールは世界第一位のカカオ生産国です。この国のカカオ農園では9歳から12歳の子供が朝の5時くらいから夕方暗くなるまで働かされています。子供たちは隣国からさらわれたりだまされたり親に売られたりして連れて来られます。奴隷だから、子供たちに給料が支払われることはありません。もちろん、学校にも行かせてもらえません。

幸運にも奴隷から解放された少年がこう言ったそうです。

「**ぼくは、チョコレートが何か知らないんだ。**」

日本の子供たちが大好きなチョコレートですが、その原料であるカカオを作っているのは奴隷として連れてこられた同世代の子供たちだという現実が世界にはあることを忘れないで下さい。

